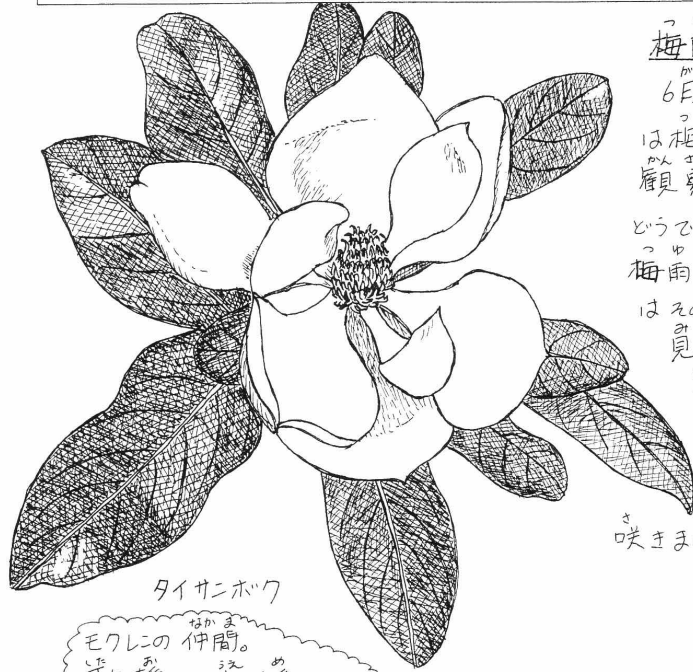


豊橋公園図鑑 No. 4

NPO 法人 東三河自然観察会



タイサンボク

モクシの仲間。
下に花びら、上に花びらの
集まりがある。

6月の観察テーマは、中野の田んぼの生き物たち!

梅雨に入りました!

6月8日に、東海地方

は梅雨入りしました。
観察会の日、天気は

どうでしょう?
梅雨でも、豊橋公園に
はその季節の生き物が
見られます。

集合場所近くで
今年もタイサンボク
の大きな花が

咲きました。いい香り!!

さて、どんな生き物たちが見られるかな? (このほかにも色々見られるよ!)

スクリミコガヤイ (シヤンボタニシ)

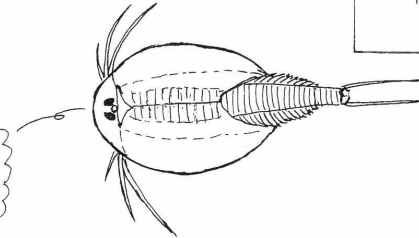
卵も採山
見られるよ!
どんな卵だろう



南アメリカ原産。1981年に、台湾から
長崎県、和歌山県に食用として
持ちこまれたものの、野生化。
イネを食害する。要注意外来生物。
「世界の侵略的外来種ワースト100」
の1つだそうです。

※寄生虫を持つことがあるので生食はX

カフトエビ

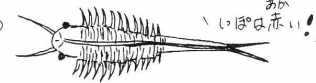


荷と!!
自はるっ
あるよ!

田んぼに水が入った後、現れる。
カフトエビとはちがう仲間。

日本には、
（アメリカカフトエビ
アジアカフトエビ
ヨーロッパカフトエビ）
の3種類がいる。
雑食です。

ホウネンエビ



別名は
田金魚

緑色の体に赤いしほが自立つ生き物
このエビが田んぼはあまが豊作に
なると言われている。
カフトエビと同じく、農薬が少ない田ん
ぼによく見られる。植物プランクトンを食べる。

田んぼで観察する時は...

- なるべく畔に入るのは控えよう。畔がこわれると、農家の方が困ります。
- カフトエビやホウネンエビは長くは生きられません。たくさん採取しても
すぐ死んでしまう事、この時期、次の子どもを残すために田んぼで生きている
事など、彼らのここの生活についても思いを巡らせてみて下さい...

文責：牧野 紀子

2015. 6. 13 作成